

第134回日本森林学会大会 パネル展

智頭の林業景観

日本森林学会は1914（大正3）年に創立された、森林・林業を総合的に扱う日本で唯一の学会です。今回、日本森林学会の第134回大会が鳥取で開かれるのを機に、公開シンポジウム「**森と生きる～智頭林業の取り組みから～**」を3月25日（土）に開催します。公開シンポジウムでは、鳥取が全国に誇る智頭林業を取り上げますが、特に智頭の林業とそれを取り巻く景観は、「**智頭の林業景観**」として国の重要文化的景観にも選定されており、後世に残すべき重要な景観となっています。林業とそれを取り巻く文化的景観が選定されたのは全国でも初めてであり、公開シンポジウムとともにパネル展を開催し、智頭の森林、林業、そして文化的景観の魅力を紹介いたします。なお、本パネル展は、智頭の山人塾、ちえの森ちづ図書館、智頭町教育委員会の協力で開催いたします。



第134回 日本森林学会大会 公開シンポジウム

森と生きる

～智頭林業の取り組みから～

参加無料
申込不要

令和5年
3月25日土 13:00～16:30

会場 **とりぎん文化会館小ホール**
(鳥取市尚徳町101-5)

オンライン同時配信
オンライン参加のURLは日本森林学会のホームページに掲載します。QRコードからお入りください。

司会 芳賀大地(鳥取大学農学部)

プログラム

基調講演 文化庁選定:重要文化的景観「智頭の林業景観」
～日本初の林業景観選定の意義～
中越信和: 広島大学名誉教授

講演1 智頭林業を支えた自然と人々の暮らし
山本福壽: 智頭の山人塾塾長

講演2 智頭林業の新たな展開～智頭ノ森ノ学ビ舎の取り組み～
國岡将平: 智頭ノ森ノ学ビ舎

パネルディスカッション 「智頭から地域の森林管理を考える」
コーディネーター: 芳賀大地
パネラー: 中越信和、山本福壽、國岡将平、村田周祐(鳥取大学地域学部)

同時開催
パネル展「智頭の林業景観」
智頭の林業景観、智頭の林業関係資料(鳥取県指定有形民俗文化財)等の紹介
期間: 令和5年3月24日(金)、25日(土)、26日(日)
とりぎん文化会館: フリースペース
協力: 智頭の山人塾、ちえの森ちづ図書館、智頭町教育委員会

森林・自然環境技術教育研究センター(JAFEE)による森林分野CPD(4時間)認定プログラム

主催: 一般社団法人 日本森林学会 共催: 公益社団法人 国土緑化推進機構
後援: 鳥取大学、公立鳥取環境大学、鳥取県

公益社団法人 国土緑化推進機構「緑と水の森林ファンド」助成事業
お問い合わせ: yamanaka@tottori-u.ac.jp (山中典和)